

## 木材価格市況標準相場

令和6年9月4日

東京木材問屋協同組合  
価格市況調査委員会

### ○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	7
吉野材	7
(2) 値下げ品目	5
南洋材・中国材	2
米材製品	2
北洋材・北欧材	1

### ○今月の市況動向

8月の商況は、夏休みで稼働日が少ないこともあり、荷動きは低調との報告が多かった。吉野材で7品目が値上がりとなったが、吉野からの運賃UPと偏った商品構成によるものとの説明であった。

(国産材) 不振が続いていた構造材では、輸入材に比べて値頃感ある為、以前より荷動きが回復している。原木は、桧が保合、杉は弱含みから保合状態で推移しているとの報告であった。

(輸入材) 南洋材での2品目は、荷動きの悪さから下げとなった。米材製品では、国内米松メーカーの値下げにより、米松105角、90角が先月に続き値下がり品目となった。北欧材では出荷が減少して、東京木材埠頭の在庫は大幅に増加したとの報告もあった。

(合板) 7月の国内針葉樹合板統計では、出荷量が生産量を上回った。減産の効果が表れたと思われる。輸入合板では、不安定な為替のため、現地からの仕入れは慎重になっているとの報告であった。